

～誰もが人間らしく生活できる税制と福祉を～

# みなさんと力を合わせてにがんばります



残暑お見舞い申し上げます

みなさん、こんにちは。

先の参議院選挙では、大門みきし参議院議員の3選を果たすことができました。みなさんのご支援に対し、心からの感謝申し上げます。

様々なご意見を聞き消費税増税ではなく、誰もが人間らしく生活できる税制と福祉が必要だと実感しています。これからも、平和と民主主義を守り、みなさんの生活向上のために力を合わせて頑張ります。

猛暑の折、熱中症になりやすく、屋内でも十分お気をつけください。

## 小中学校の耐震化が進みます 平成24年度で完了予定

6月議会は、2日開会し川越市地球温暖化対策基金条例や市内小中学校の耐震補強工事請負契約のための条例など24議案を日本共産党を含む全会一致で可決し22日閉会しました。

今回、仙波小・武蔵野小、大東中・霞ヶ関中、城南中・高階中、月越小や泉小の体育館など耐震補強工事の契約について審議しました。学校の耐震化は、子ども達の学びの場だけでなく災害時の避難場所としても大切な場所です。市は国の補助率を

プを活用し耐震化を促進。順調に進めば平成24年度には全ての学校の耐震化が完了する予定です。

日本共産党は、新耐震基準（昭和56年以降）の建物やすでに耐震化が行われている建物も老朽化が進んでいる建物について調査し改修するよう求めました。



### ヘルパー制度の改善が必要です！

私は、「入所施設で暮らしている重度障害者の通院・買い物・余暇活動等を支援するヘルパー制度の拡充などを求める請願書」に賛成しました。啓政会、公明党、P川越21、やまぶき同志会、自民クラブ、スピリット50、民主党が反対し不採択になりました。残念です。

施設入所者のヘルパー利用は、介護給付に含まれますが、通院や墓参り、買い物などの外出にまでまわらず支援が不十分なのが実態です。憲法25条に照らして尊厳ある生き方ができるよう保障するのが行政の役割です。

## 6月市議会報告

日本共産党市議会議員

2010年8月

# 川口とも忍

発行：日本共産党川越議員団  
連絡先：川越市役所日本共産党議員団控室  
電話：224-8811内線3636  
ホームページ：<http://www.jcp-kawagoe.jp/>

～生活・法律相談を実施中～  
連絡は市役所又はお急ぎの方は携帯へ  
連絡先：090-9833-0288  
住所：豊田本1868-1

# 地域や市民の声を市議会で提案しました

今回の議会は、1、市民の暮らしに欠かせない都市農業の発展について、2、大東地域の諸問題について一般質問しました。みなさんのご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

## 都市農業応援の市政へ

日本共産党・川口知子市議の一般質問

### 3代続けば農地がなくなる 税制を改革すべき

私は、農業に必要な作業場などの土地に対する固定資産税を農地に準じた課税とすべき。相続税は農地として継続利用されている場合、軽減できると国の農地税制の見直しが必要だと主張。

### 生産緑地の追加指定で農地・緑の保全を

私は、国が都市農業を守り

持続可能な振興を図ることを閣議決定したことにより、市が生産緑地の追加指定の要綱をつくるべきと質問。都市計画部長は、新たな生産緑地指定基準を定める必要があるとの認識を示しました。

### 直売所新設の支援策を

農家の所得安定と消費者のニーズをとらえ、市に農産物直売所を増やす取り組みを強めるよう方策を提案しました。

### 国道16号・新宿三丁目交差点一部改善されました

国道16号・新宿三丁目交差点は、所沢街道と交わる部分で大勢の歩行者・車が行き交いますが歩行者を守る待機場所がありません。この程、元ガソリンスタンドの一部の土地を買収し待機場所が設けられました。私は当時、守屋ひろ子県議、住民と一緒に現場を調査し議会で取り上げました。



守屋ひろ子前県議と待機場所にて



農園利用方式で開設された  
佐藤レジャー農園（古谷）

産業観光部長は、現在、市の補助はないが、地域の要望に応じて直売所開設の補助基準設置について検討したい。また、さいたま市の直売所マップを議場で広げ、来年は庭先販売や観光農園も含め直売所マップをつくり市民や観光客に配れるようにしてほしいと要求しました。

### 市民農園増やす方策ある

遊休農地の活用にも効果が期待される市民農園は、相続税の納税猶予が同時に受けら

れる農園利用方式による開設が最適で、市の考えを聞いたところ、農園利用方式での開設の推進を考えていると答えました。

### 旧道の渋滞緩和のため 市道の幹線道路整備を

大東地域の諸問題では、国道と太田街道が交差する南大塚交差点の問題で国道北側の部分に右折帯がなく朝夕と旧道（入間川街道）のほうまで渋滞している状況です。国道への左折車は自転車や歩行者の往来を待つ状況で右・左折の車がいると何台も通過できず交差点を抜けるのに時間がかかるという声を紹介。歩道も狭いため歩行者も非常に危険な状況です。市の右折帯の設置についての考えを伺った所、建設部長は、国土交通省と協議するなかで交通の円滑化や歩行者の安全に配慮した交通環境の整備について検討すると答弁しました。